

主催：奈良県立図書情報館 協力：大和郡山市立図書館
監修：京都文教大学 総合社会学部 社会学部教授 鶴飼正樹氏

展覧会「日本少女歌劇座」

大和郡山発 大正・昭和を駆け抜けた旅する少女スタア達

令和2年(2020)2月22日～3月1日

於：奈良県立図書情報館 2F エントランス

かつて、大正15年(1926)から昭和30年(1955)頃にかけて、大和郡山に本社を置き、日本全国を巡業した少女歌劇団がありました。

「ニッショウ」「NSK」の愛称で親しまれた「日本少女歌劇座」です。

日本少女歌劇座は、拠点となる劇場で常打ち公演をするのではなく、計画的に各地を巡業するユニークな公演スタイルをとっていました。

大和郡山発「元祖ローカルアイドル」ともいえる日本少女歌劇座ですが、それまでその活動が広く知られることはありませんでした。奈良県内では、そもそも公演自体が少なかったため、忘れられつつあります。本展では、当時の絵葉書やチラシなどの資料を展示し、日本少女歌劇座の全貌をご紹介します。

「日本少女歌劇座」は10代から20代の少女らを中心に数々の華やかな演目を人々に届けていました。本社や練習場などは大和郡山市にありましたが、公演の多くは鉄道で移動しながら全国各地で行い、戦時中には朝鮮や満州などへも訪れました。

童話をテーマにしたものからベルリンオリンピックなどの時代に合わせた演目まで、30年近くに渡って数多くの巡業を行いました。

The NIPPON GIRLS OPERA BRAND

日本少女歌劇座

大和郡山発 大正・昭和を駆け抜けた旅する少女スタア達



展覧会
2020. 2.22 [土]～3.1 [日]
場所 奈良県立図書情報館 2F エントランス
時間 9:00～20:00(開館時間中) 観覧無料
主催 奈良県立図書情報館 協力 大和郡山市立図書館 監修 京都文教大学 総合社会学部 社会学部教授 鶴飼正樹

講演会
2020. 2.29 [土] 14:00～15:30(開場 13:30)
場所 奈良県立図書情報館 1F 交流ホール
講師 京都文教大学 総合社会学部教授 鶴飼正樹
参加無料、事前申し込み必要

昭和40年日本歌劇学校 写真：吉田守氏
OSK 日本歌劇団の歌劇学校が菖蒲池にあった。
昭和33年(1958)から平成13年(2001)



参考：当時、拠点を持つ日本の三大歌劇団としては
宝塚歌劇団(大正3年(1914)初演 宝塚市
松竹歌劇団(SKD)(昭和3年(1928)～平成8年(1996)解散)
OSK 日本歌劇団(大正11年(1922)～ 大阪